

コロナ対応をふりかえる

新型コロナウイルスの状況は一向に先が見えない状況ですが、一度これまでのコロナ関連の取り組みを振り返り、次の感染拡大に備えていきたいと思えます。今後も、動向を注視しながら、万全の対応に努めていきます。

コロナで困っている人たちのために…

・PayPay キャンペーンの実施時期の適正化を要望

市内の中小事業者支援のため、PayPay の電子決済を利用すると購入額の 20% (第 2 弾は 30%) 還元されるキャンペーンが 3 回ありました。参加企業の方からは好評で、一定の評価はできるところですが、第 1 弾は 2020 年 12 月～翌 1 月のコロナ第 3 波の時期、第 2 弾は 2021 年 9 月の緊急事態宣言中など、自粛と買い物を同時に求めるような状況だったことを踏まえ、適切な時期での実施を求めました。第 3 弾は 12 月の実施となり、比較的適切な時期の実施となったと思います。利用状況や成果については引き続き注視していきます。

・お弁当炊き出しや家計相談に参加

自分が理事を務めている NPO 法人さんきゅうハウスでは路上生活者や家計の厳しい人たちの支援を行っています。毎週土曜日にお弁当の炊き出しを実施したり、河川敷や駅周辺の路上生活者への声かけ、家計の厳しい家庭の相談に乗るなど、多くの活動に参加しています。

・各種助成の申請を支援

感染拡大防止協力金など助成の申請で難儀する人がいます。助成対象になる市民の方からの相談に乗りました。必要に応じて申請の同行や案内を行い、支援へ繋ぐことができました。

・子どもの学習支援事業の拡充を要望

立川市では経済的な事情等で悩みを抱える子育て世帯に対して、市内 4 か所で無料の学習支援教室を開いています。しかし大変好評で、順番待ちなどが発生している状況です。議会等で、この事業のオンライン導入や会場の新設、参加人数の増加など、一層の拡充を求めてきました。その方向性で市も検討中ですが、今後も実現を目指して、引き続き声をあげていきます。

ワクチンを受けたい人はきちんと受けられるように

・電話の受付体制の拡充や周知方法の拡充を要望

ワクチン接種の受付では多くの問い合わせが殺到し、大きな混乱をきたしました。今後はそのようなことのないよう、電話回線の拡充や予約方法の利便性向上などを要望しました。現在は状況に合わせて受付体制も対応しており、かなりスムーズに予約が取れるようになりました。

・障がいを抱えた人たちも接種できるように…

介護を必要とする障がいを抱えた人たちが接種できるよう、訪問接種などの体制整備を要望し、結果として職域接種などの枠組みにより、スムーズな接種が可能となりました。

市の情報を少しでも多くの人に届くように…

・LINE や防災無線の活用を導入するよう要望

コロナ禍により、かつてないほどに市からの情報提供に関心が寄せられています。今後もコロナやワクチン情報等を確実、かつスピーディーに届けることが求められています。議会でも、LINE や防災無線の活用など、従来の周知方法にとられない新しい手段の模索を訴えてきました。

・様々な支援を整理して一覧化して市民の皆様へ配布

コロナ関連の支援施策は非常に数が多く、また部署も分かれているために、整理されていない状況でした。「もらえる」、「借りられる」、「相談する」などニーズ毎に支援策をまとめ一覧化し、3 万枚を市民の皆様へ配布しました。読者からは非常にわかりやすいとご好評をいただきました。

その他

PCR 検査の助成を要望

自主的に受ける PCR 検査も感染拡大防止に一定の効果があります。民間の自主的な検査に対しても検査費用の一部補助を議会で要望しました。

マスクができない人たちへ配慮を要望

障害や発達の特性や、疾病などの事情でマスクが着用できない人たちが一定数います。そのことは社会全体で理解し、配慮することが必要です。市としての周知や役所での意思表示ステッカーの配布などを要望し、ホームページに記載されることになりました。今後もステッカーの配布など、一層の周知を求めていきます。